

# Golden Age Project COMP-3A Jr



## 取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

## Golden Age Project / COMP-3A Jr

### INTRODUCTION

Golden Age Project「COMP-3A Jr」は、伝説のビンテージ『LA-3A』を再現したコンプレッサー/レベリング・アンプです。上位機種 COMP-3A のエッセンスを凝縮し、サウンドはそのままにコンパクトな「Jr サイズ」に収めています。

1969 年のデビュー以来、数え切れないほどのレコーディングで使用され、最も有名なコンプレッサーとして歴史に名を刻む LA-3A(ソリッド・ステート・バージョン)は、LA-2A より高速なアタックとリリースを実現できるため、ドラムスやルームマイク、ピアノ、ボーカルなどに多く使用されます。特にエレクトリック・ギターやベースの録音において最もポピュラーな定番機種です。ミッドレンジをしっかりと捕えるそのパンチ感のあるコンプレッション・サウンドは、世界中のプロフェッショナルから支持されています。



「COMP-3A Jr」の信号パスには抵抗、コンデンサ、ダイオード、トランジスタなどのディスクリートのコンポーネントのみが使用され、入出力はそれぞれに最適化されたトランスフォーマー・バランスのデザインが採用されています。IC 回路は一切使用されていないクラシックな回路設計は本機の音質を決定付けています。COMP-3A Jr の持つ音楽的なビンテージサウンドは、デジタルレコーディング全盛の今だからこそ評価される音質を提供できます。

また、COMP-3A Jr にはクラシックなオプトカプラを使用するゲインコントロール回路が採用され、オリジナル実機のもつ個性的なコンプサウンドを再現しています。当時と変わらないビンテージスタイルの信号パスが、多くのエンジニアやミュージシャンたちが愛して止まない、あの LA-3A のサウンドを余すことなく再現します。

## FEATURES

- ・ビンテージ・スタイルを貫いた電子パーツや回路設計
- ・トランスフォーマー・バランスド入力&出力
- ・最大出力レベル 25dBu
- ・オプトカプラーを使用するゲインコントロール方式。最速のアタックタイム(1ms)
- ・Gain Makeup と Gain Reduction の 2 つのコントロールで最大の効果を達成
- ・3 ポジションの TIME スイッチによる Attcak タイムと Release タイムの最適なコンビネーション 3 つを切り替え可能・内部ジャンパーの設定により TIME ポジション B と C のタイムを長く設定可能
- ・LED メーターは、出力レベルまたは、ゲインリダクションを表示可能
- ・ハードウェア・バイパス・スイッチ
- ・XLR と TRS フォーンの入力端子/出力端子
- ・リンク端子で 2 台の COMP-3A を接続することでステレオ・オペレーションが可能
- ・全てのコントロールをフロントパネルに集約したことで、ビンテージより使い勝手が良い
- ・外部パワーサプライによりオーディオ信号やトランスへの悪影響がない設計
- ・1U-1/4 ラックサイズのコンパクト設計。別売の UNITE MKII に同サイズの GAP 製品を 4 台までラックマウント可能。
- ・頑強で品質が高く、長く使用できる完璧なビルド・クオリティ
- ・重量 :1.4kg
- ・サイズ(mm):W 215×H 88×D200(突起含まず)/ D216(突起含む)



## CIRCUIT DESCRIPTION

信号はバイパスリレーから入力トランスフォーマーに送られます。その後ゲインリダクション回路に入り R1/R2 レジスタ・ネットワークを通過します。オプトカプラは光学的なデバイスで光量に応じた抵抗値を作り出します。レジスタ・ネットワークが信号レベルを低くした後には、ゲインメイクアップのためのポテンシオメータと、2520 スタイルのゲイン・アンプ回路に信号が入力されます。このアンプ回路はもちろん完全なディスクリート設計で、出力トランスによってバランス出力されます。

サイドチェーン回路は R1 抵抗の後から信号を取り出します。ゲイン・リダクションのポテンシオメータはレベル調整され、いくつかのアンプセクションを経由して、オプトカプラの LED をドライブさせるために最適化されます。このオプト回路により独特なコンプレッションが作られています。

アタックタイムとリリースタイムは、オプトカプラの特性によって決まります。COMP-3A Jr にはいくつかのタイミング・オプションを持つ TIME スイッチも用意されています。さらにセレクトブルなサイドチェーン・ハイパスフィルタ(-3dB @ 250Hz、6dB /oct)が、よりプロフェッショナルなコンプレッションを実現します。

## USING THE COMP-3A JR

COMP-3A Jr を使用するには、以下のスタートガイドをご参照ください。

- ・24V AC アダプター(国内正規品には 100V でご利用いただける PSE 認証アダプターが付属しています)を接続してください。フロントパネルの電源スイッチをオンにしてください。
- ・INPUT にオーディオソースを入力します。出力は TRS フォンと XLR が用意されており、内部で平行接続されています。
- ・GAIN MAKEUP ノブで最終的な出力ゲインを設定します。ノブの設定位置が 2.5 位置が、コンプレッションがない場合の 0dB 位置になります。約 24dB の追加ゲインを設定可能です。
- ・GAIN REDUCTION ノブを時計回り方向に回していき、コンプレッションを適応します。入力レベル +4dBu の場合の最大コンプレッションは約 20dB です。

## THE TIME SWITCH

アタックタイムとリリースタイムは、3 ポジション (A,B,C) の TIME スイッチで変更できます。A ポジションは最も高速なアタック&リリースとなり、最もオリジナル UA の LA-3A に近くなります。ポジション B は遅めのアタックタイム設定となっており、Golden Age Project の COMP-3A に近いコンプレッションが楽しめます。ポジション C はアタックタイムを増加させて(遅めて)います。

ユニットの内部でジャンパーを設定すると、スイッチのポジション B、または C のアタックタイムとリリースタイムを増加させることができます。フロントパネルの近くに 2 つの基板コネクタがあります

- 1.「T-B」(TIME スイッチのすぐ後ろ側)
- 2.「T-C」(IN/OUT スイッチと R25 の右側)

これらのジャンパーは、工場出荷時には片側だけのピンに取り付けられていますので、B または C のスイッチ位置でアタックとリリースタイムを増やしたい場合には、対応するジャンパーで両方のピンを閉じるように設定してください。

## THE METER

メータースイッチは GR または VU に設定できます。GR を選択することで、LED バーの目盛りでおおよそのゲインリダクション量を表示できます。LED バー右側の数値がゲインリダクション量です。

また出力レベルは、メータースイッチを VU をに設定することで表示できます。LED バーの左側の目盛りが VU メーターの値です。VU 値 0 は、出力レベルがノミナルレベルである、約 4dBu (1.23V RMS) であることを示します。

## STEREO OPERATION

COMP-3A Jr を 2 台使用したステレオ・オペレーションでは、2 つのユニットをリアパネルの LINK 端子で接続することで、両機のサイドチェインをリンクさせることができます。接続には TS フォンケーブルを使用します。

\*ステレオ・オペレーション時にはマッチド・コンプレッションとアウトプットを得るために、両ユニットのノブ位置は同じ設定にしてください。

## SC HIGH PASS FILTER

サイドチェイン・ハイパスフィルター・スイッチを搭載しています。FLAT 位置で無効、SHP 位置で有効になります。

250Hz 以下の周波数に対してコンプレッションをかかりにくくすることができます。低域に過剰にコンプレッションが反応しすぎるのを防ぎたい場合に便利です。

## IN/OUT スイッチ

COMP-3A Jr を簡単にバイパスできるスイッチです。OUT ポジションでは完全にバイパスされます。